

事務局だより



第13回

みえの農村風景 写真コンテスト受賞作品

みえの農村にスポットをあてた写真を募集して、農業・農村に対する関心を高めていただき、さらに広報冊子、その他の広報資料にこの写真を活用する事を目的とした写真コンテストを実施した。

57点の力作が寄せられ、平成29年2月7日に5名の審査委員により厳正な審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞4点、伊勢新聞社賞1点が選ばれた。

最優秀賞

田んぼの中で田植え姿の少女が1人、微笑みながら立っています。とてもシンプルな構図ですが、シンプルだけに、田んぼの緑の中で少女の姿が際立つ作品となりました。広報誌の表紙を飾るにふさわしいと、審査員満場一致で選んだ最高傑作です。



「お田植」(多気町)加藤和弘

優秀賞

松阪市碓目町で夏に行われる虫送り神事での1コマ。夕暮れ時の薄暗い静かな田園の中に、赤々と激しく燃える松明の炎が浮かび上がる、「静」と「動」を見事にとらえた作品です。松明を持つ男たちの躍動感も伝わってきます。



「松明」(松阪市)石川紋也



「穂の輪」(亀山市)伊藤孝司

構図としてはおもしろく、表紙の写真として使いたくなる写真。ただ、似た写真はよく見かけるからか、最優秀賞には届かなかった…。青空も美しく、子供たちのいきいきとした表情もとらえており、審査員の評価はとても高かったです。

特別賞

「灯の癒し」(熊野市) 山崎るみ

熊野市紀和町にある丸山千枚田の虫送りを撮影したものでしょうか。薄闇の中に、灯がまるで蛍が舞うようにともさされていて、とても美しい写真です。ただ、全体的に写真が暗く、広報誌の表紙にするには明るさが足りなかったことが残念でした。



「ママ、どうして植えるの」(津市)藤高文男

一家で田植えに参加しに来たのでしょうか。腰をかがめながら一生懸命に植えているお母さんとお兄ちゃんの横で、稲を手に持ちながらその様子を眺める男の子の無邪気な表情が印象に残る一枚。ちゃんと植えることができたかな？

「家族揃って茶つみ」(大紀町)海野賢一

茶つみ作業に参加しに来た家族たちの写真。山里の茶畑に多くの方が集まって、にぎやかな様子が伝わってきます。ただ顔の表情がとらえられなかったのが残念。いきいきとした表情があれば、もう少し評価が高かっただけに、惜しいの一言。



「コスモス畑とナローゲージ北勢線」(いなべ市)水谷善則

当写真コンテストで定番の、田園風景を走る電車の写真。ただこの作品は、空の青、山の緑、コスモスのピンクに北勢線の黄色と、色とりどりで配色もバランスよく、とても美しいです。

伊勢新聞社賞

収穫したばかりのダイコンを干す作業風景をとらえた一枚。何気ない日常の作業風景を撮影したのですが、「手際良く」のタイトルに惹かれました。新聞の見出しにも使いたくなる表現です。



「手際良く」(伊勢市)山本幸平